令和元年度 第5回富山支部評議会の概要報告（速報）

開催日	令和2年1月16日（木）13：15～15：00
会場	協会けんぽ富山支部 会議室
議題	<p>(1) 令和2年度保険料率について</p> <p>(2) 令和2年度支部事業計画（案）について</p> <p>(3) 令和2年度支部保険者機能強化予算（案）について</p>
出席者	<p>評議員</p> <p>学識経験者：中村評議員（議長）、大井評議員、泉評議員</p> <p>事業主代表：廣瀬評議員、若林評議員、藤井評議員</p> <p>被保険者代表：大森評議員、河口評議員、川津評議員</p>
報告概要 （主な意見等）	<p>事務局より各議題について資料により説明。主な意見等は下記のとおりです。</p> <p>議題1. 令和2年度保険料率について</p> <p>資料 1-1 令和2年度富山支部保険料率の算定</p> <p>資料 1-2 令和2年度介護保険料率について</p> <p>資料 1-3 令和2年度インセンティブ制度の評価指標について</p> <p>参考資料 1-1 令和2年度保険料率に関する論点について</p> <p>参考資料 1-2 令和2年度保険料率算定に係る基礎データ</p> <p>参考資料 1-3 平成31年度保険料率に係る支部長意見</p> <p>（事業主代表）</p> <p>震災に伴う波及増の告示額が未確定とはどういうことか。</p> <p>（事務局）</p> <p>東日本大震災などで被災された加入者は、医療機関の窓口で支払う自己負担分が免除される取扱いとなっている。その免除した窓口負担分を全国の支部で均等に負担しており、その額が現時点においては未確定となっている。</p> <p>（事業主代表）</p> <p>医療給付費についての調整前の所要保険料率が 4.75%から 4.81%に増加しているが、今後も増加していく可能性はあるか。</p>

(事務局)

高齢化の進展や医療の高度化により、今後も全国的に増加していくことが見込まれる。

(議長)

精算分で0.03%減となった要因があれば伺いたい。

(事務局)

医療費適正化等に力を入れ取り組んだことが要因の1つと考えているが、具体的な分析はできていない。

(議長)

インセンティブ制度の影響があまりに小さく感じる。

(事務局)

インセンティブ制度は事業主・加入者の保険料率に直接影響を及ぼすものである。そのため都道府県ごとの公平性等に一定の配慮を行いつつ、まずは保険料率に影響を与える範囲内で最も低く抑えたところからスタートさせ、段階的に減算する仕組みとしている。

(被保険者代表)

介護保険料率について県ごとに差をつけるような取り組みや制度はあるか。

(事務局)

介護を必要とする高齢者を社会全体で支える制度として介護保険制度があり、各都道府県で要介護の認定者数を減らすための様々な取り組みは行われているが、協会けんぽ加入者の介護保険料率は全国一律である。

(議長)

全国に支部を持つ協会けんぽとしても、介護が必要になる人を減らせるよう取り組んでいただきたい。

(事業主代表)

65歳以上になると介護保険料はかからないのか。

(事務局)

65歳以降は介護保険の第1号被保険者となり、市区町村での取り扱いとなるため協会けんぽから徴収されることはないが、原則年金等から天引きされる。

(議長)

昨年度と比較して令和2年度の介護納付金は減っているが、今後増えていく可能性はあるか。

(事務局)

介護給付費が増え続けていることから、来年度以降に介護納付金が増える可能性はある。

(被保険者代表)

保険料率は引き下げだが、介護保険料率は引き上げとなっていて、制度が異なるということは理解できるが仕組みがわかりにくい。

(議長)

介護保険料率が上がっているため、第2号被保険者は富山支部の保険料率が引き下げとなったことを実感しづらい。

(事務局)

保険料率と介護保険料率についての広報の仕方を工夫していきたい。

(学識経験者)

インセンティブ制度の影響が小さいため広報しづらいのではないか。

(事務局)

まずは保険料率に影響を与える範囲内で最も低く抑えたところからスタートさせ、段階的に減算する仕組みとしているため現段階での影響は小さいが、インセンティブ制度の5つの評価指標に対して取り組むことは医療費適正化や健康増進につながるため、今後も周知していきたい。

(事業主代表)

各支部の規模の違いによりインセンティブ制度への取り組みやすさは異なるのか。

(事務局)

大規模支部では事業所数が多く、インセンティブ制度を周知させることが難しい等のことはあると考えられる。

→富山支部の保険料率の提案については異議なく了承された。

議題2. 令和2年度支部事業計画(案)について

資料 2-1 令和2年度全国健康保険協会富山支部事業計画(案)

資料 2-2 令和2年度全国健康保険協会事業計画(案)

(学識経験者)

未治療者に対する二次勧奨実施見込人数について、令和元年度の約 1,200 人から約 1,100 人に減らした理由を伺いたい。

(事務局)

見込人数は生活習慣病予防健診の受診対象者数から算出しているが、令和 2 年度は生活習慣病予防健診の受診対象者数が減ったため、見込み人数を減らしている。

(被保険者代表)

保健師、管理栄養士のスキルアップとあるが、どう評価しているのか伺いたい。

(事務局)

保健師は人材育成計画に基づき、研修プログラムの 1 つとして定期的にプレゼンをさせ知識が身に付いているか確認している。また、担当者ごとに特定保健指導を実施し、どれだけの対象者が改善したかなどの実績を出し評価している。

(学識経験者)

事業者からの被扶養者資格の確認書の提出率を 92%以上とするとあるが、本来 100%を目指すところではないか。また、日本年金機構との協力関係があれば伺いたい。

(事務局)

被扶養者資格の確認書未提出の事業所については、本部より催告通知を送付し提出率の上昇に努めている。また、あて所に尋ねあたりなく戻ってきた扶養調書のリストについては、日本年金機構へ新しい送り先住所等があるかを確認している。

→令和 2 年度支部事業計画案については異議なく了承された。

議題 3. 令和 2 年度支部保険者機能強化予算 (案) について

資料 3-1 令和 2 年度富山支部保険者機能強化予算 (案)

資料 3-2 令和 2 年度全国健康保険協会予算 (案)

(議長)

費用対効果を分析できる内容については今後お示しいただきたい。

→令和 2 年度支部保険者機能強化予算案については異議なく了承された。

以上

特記事項

・傍聴者なし。

次回 令和2年5月に開催予定